

琉球大学学術リポジトリ

講義ノート：教養学部科外講義 [第1講
学問について]

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2018-04-16 キーワード (Ja): 矢内原忠雄 キーワード (En): Yanaihara Tadao 作成者: 矢内原, 忠雄 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/38516

S T A R T

REEL No. B-016

琉球大学

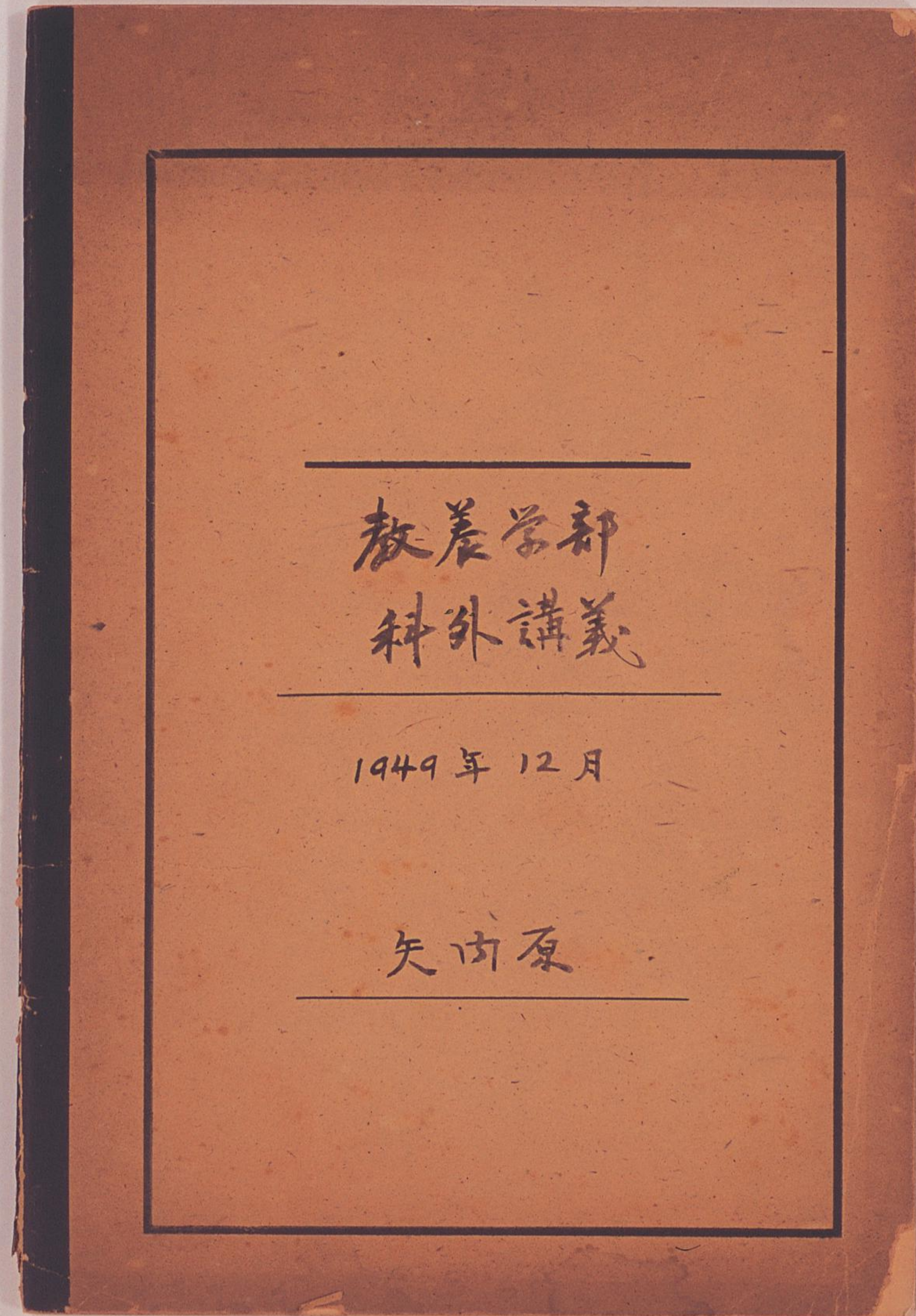
矢内原忠雄文庫

史料名	教養学部科外講義 1949年12月 [第1講 学問について Dec.8.1949]
封筒番号	523
原文所所蔵者	琉球大学附属図書館
撮影年月日	平成 17 年 11 月 24 日
撮影者	富士写真フイルム 株式会社
備考	

矢内原忠雄文庫

封筒番号 : 523

史料名	教養学部科外講義 1949年12月 [第1講 学問について Dec.8.1949]
資料形態	B5版ノート
枚数	5
頁数	10
縦 (cm)	25.5
横 (cm)	18
厚さ (cm)	
書誌的事項	講義ノート 記述は5枚目まで 枚数のカウントには表紙裏表紙も含む []内は本ノート最初の記述 今泉分類記号 : Y



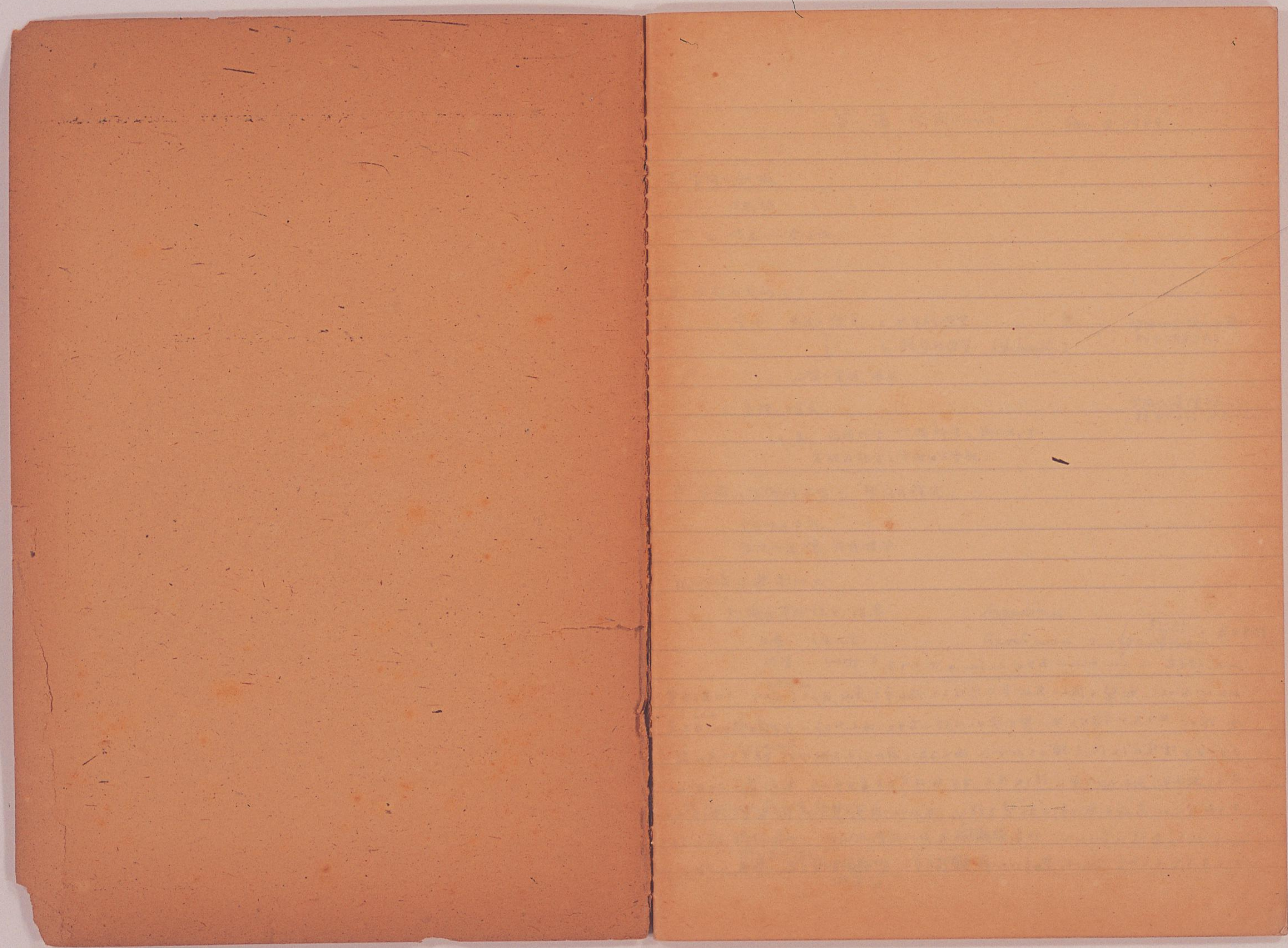
教養学部
科外講義

1949年12月

矢内原



1/12



信託之妻 1. 12-13

コ-ルマ

山外 信託者 は エルサレム ありて 入江に 王なりき。

われ心をつし、智慧を用ひて天が下に命はるる諸の事を見出し、且つしべり。この世は葉は津が世の人に授けたるに身と命とを以てしる者なり。為此の下の反すの諸の行を正し、其の皆座に風を捕りてかかし、曲る者は直にさし、直る者は曲るに、是れは我の教を命に授けし。われ心の中に語りて言ふ、我は天の若くはより、我の心はエルサレムにあり、世の若くは我は天の智慧を得たり。我の心は智慧と知識を多く得たり。われ心をつし、智慧を以てし、社会の愚癡を以てし、此の世の疾風を捕りてかかし、左の世を以てし、此の智慧多ければ、懐疑多し、知識を授けし者、愚癡を授けし者。

第一講 学問について

Dec. 8, 1949.

I. 学問と知識

- 1. 法則性
- 2. 体系 - 全体性

II. 学問の目的

- 1. 実用 生活の便宜
 - a. 物質的便宜
 - b. 精神的便宜 (philosophy)

学問は人類の必要によりて研究される。

人類の幸福、進歩。

- 2. 真理の探求

学問は真理探求の精神によりて研究される。

- 1.2 組 応用科学、理論科学の間に於て、
客観的態度と主観的態度。

III. 学問の技術的進歩と「学問の批判」

ハルツの日記

学問の苦悶、指導精神

IV. 学問は進歩したか

知識の無限性と限界

Augustinus

生命 - 人進人退

Gnosticism & Agnosticism

物質 - energy, 力

精神論

光

Newton

Cohereck

V. 学問は人類を幸福にいたるか

湯川博士 - 原子核研究 - 原子爆弾

野口英世博士 - 細菌学 - 細菌学

細菌学

科学者の目的観。
科学の成果と利用担当の責任。

VI. 学問と階級及び民族。

階級の学問...

民族の学問... Nazi

学問の普遍性、全体性、と歴史性、相対性の問題。

VII. 学問の自由。

利益のための学問(功利性)の下には学問の自由なし。

全体的、普遍的立場の下には必ず学問の自由あり。

VIII. 学問の「史」。

a. 専門化と総合化。 1. 共同研究
2. Grenzgebiet

b. 人文科学、社会科学、自然科学の総合。... 専門学「広き基礎」を必要とする。

IX. 日本の学問。

権威と天才。

研究設備の不足と研究者の不足。

学問水準低下の問題と男子制。— 教員子弟の仕度。

狭き研究室、研究格差、研究目的。

学問の広き基礎。

X. 日本現時の学生。

après-guerre の一特徴。... 学問より実務(軍務)。

理論の貧困、客観的批判力の欠乏。

附和雷同 (parteilich, 政治的)。

左翼学生運動の浮き上り。... 娯楽型... 華奢な学生服、
一般学生の向学心? ... 虚言型(敷衍性)。

第二講 教養について Dec. 15, 1949.

I. 教養と学問.

学問の分類

専門の分類と総合 — 学問の新分野.

学問の基礎としての一般教養 — (a) 総合的研究, (b) 学問の興味.

Department of General Education.

Survey course.

Anthropology (v. Theology)

二十世紀の学術観念の変遷の経緯.

II. 教養

1. 学問の培養基

2. 人としての Bildung. 学問 Knowledge.

藝術

礼儀

遊戯

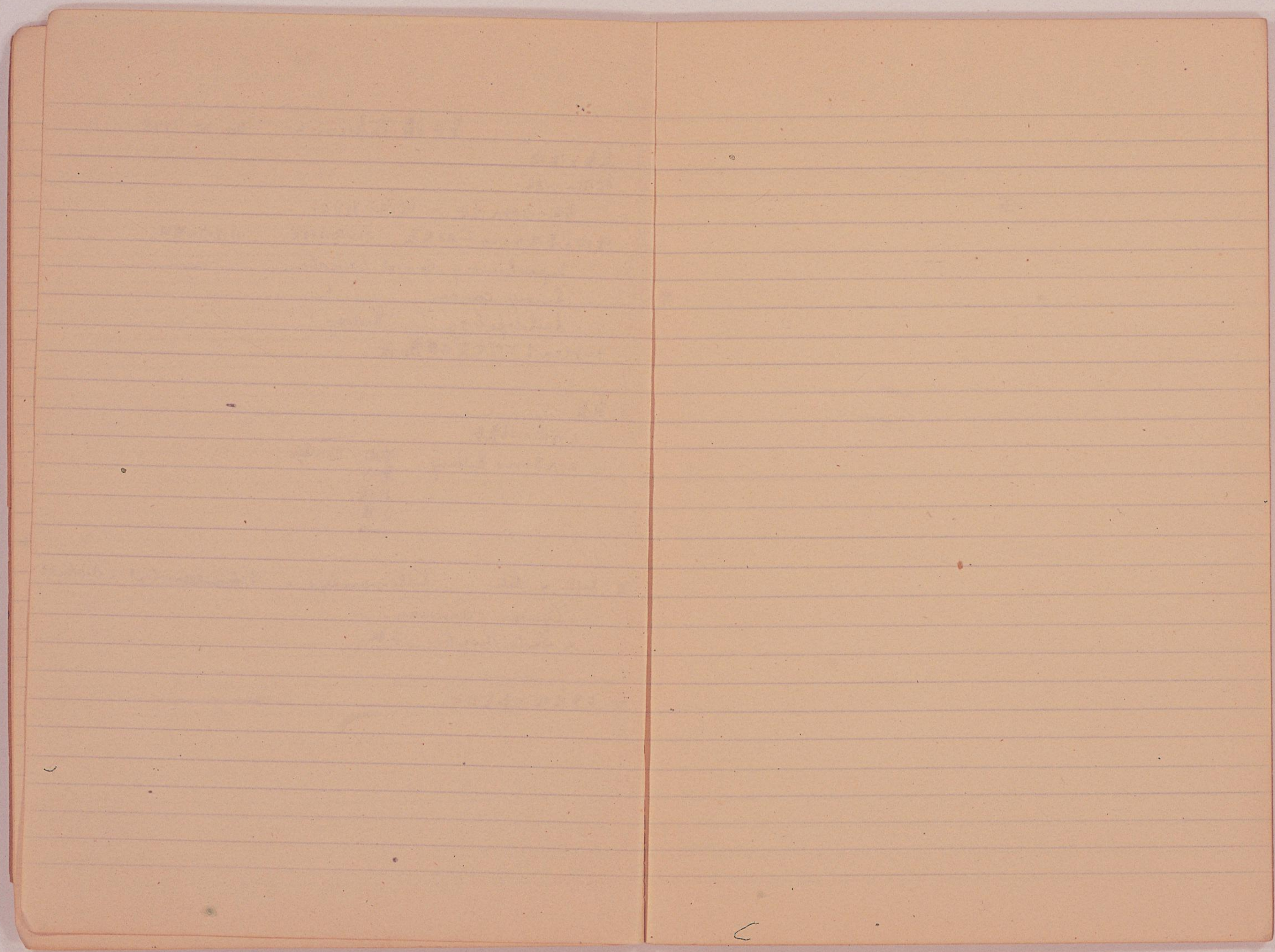
sports

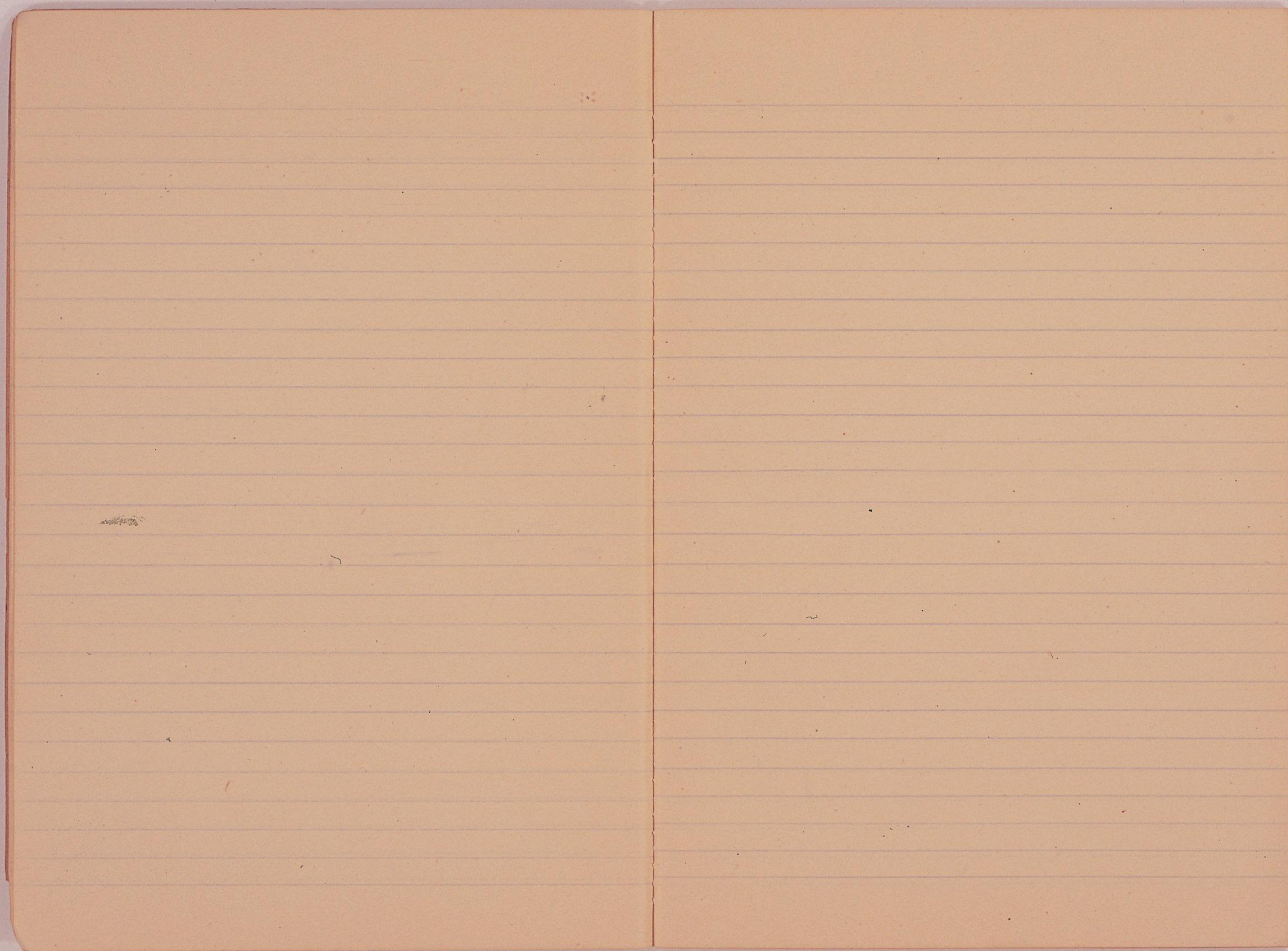
III. Kultur u. Natur. Kulturwissenschaft u. Naturwissenschaft (Rickert)

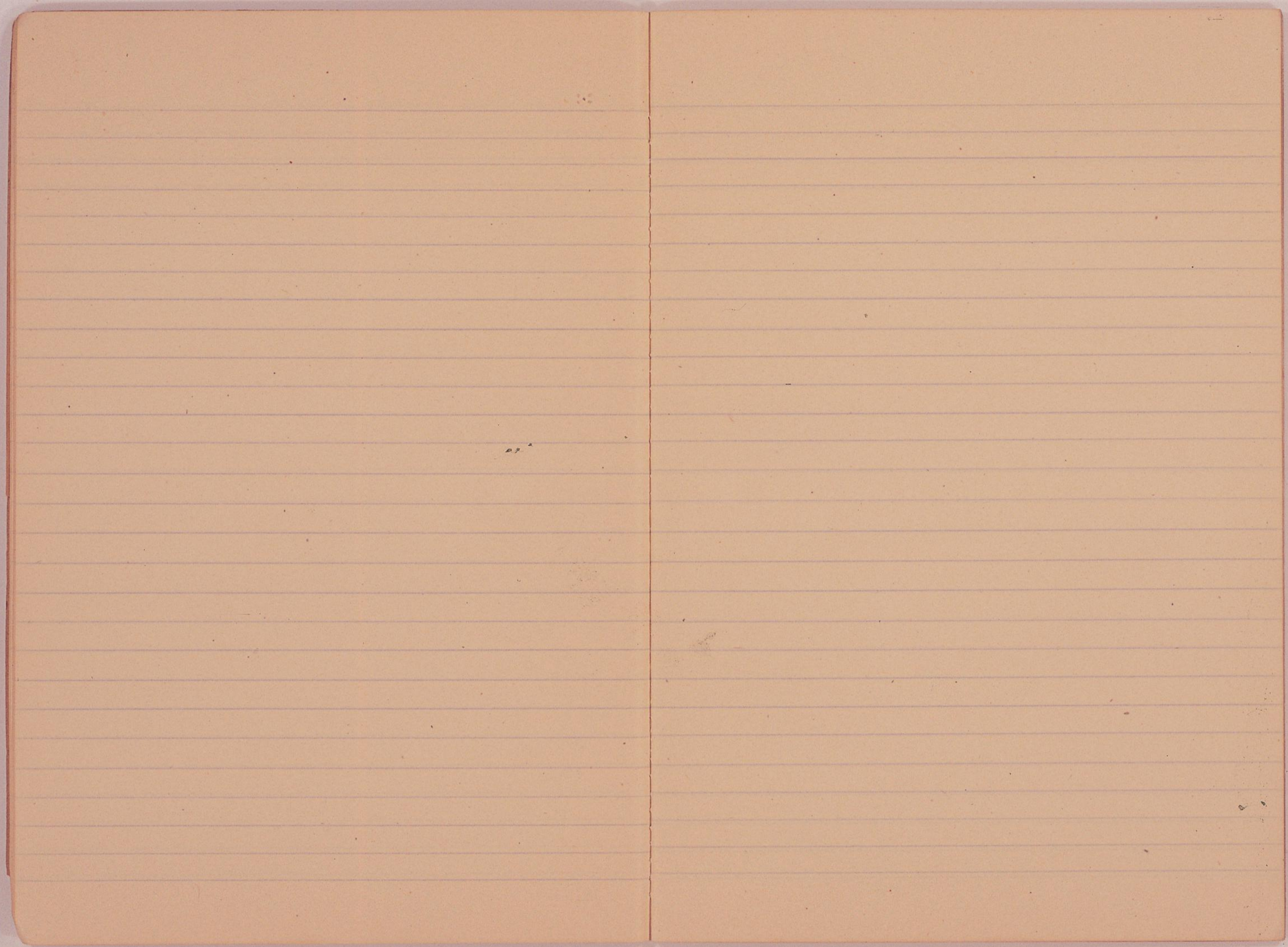
1. Cynics. Rousseau.

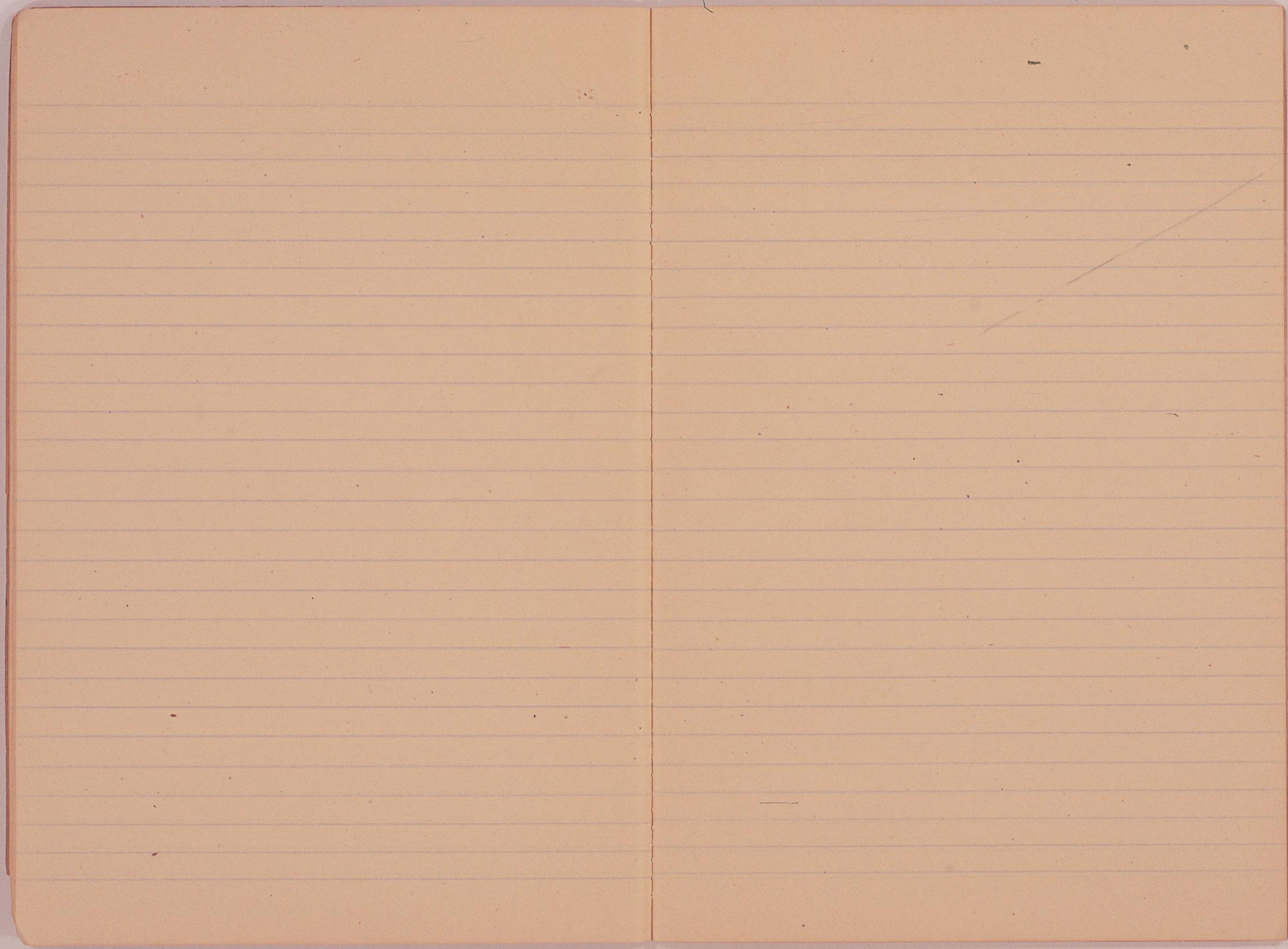
2. Santa Rosalia. 本能.

IV. 高等学校と社会学









説明 ターゲット

これより最終
ページまで白紙に
なりますので撮影
を省略します。

